

実証実験 報告書

市町村手帳をデジタル化し、市町村手帳の利便性を高めたい！

実証事業者：一般社団法人地域DX支援センター
×
総務局市町村課

目次

● 1. 実証実験の概要

- 背景・目的
- 実証実験の方法
- 目標・KPI

● 2. 実証実験の結果

- KPIに関連する結果
- 工夫したポイント
- 実証実験で得られた発見
- 実証実験の評価

● 3. 課題と今後の展開

- サービス/システムにおける課題
- 導入に向けての課題と解決策

● 4. 参考資料

- 成果物（制作物）紹介
- サービス/システムの紹介

1. 実証実験の概要

背景・目的

- 市町村手帳は、県内の市町村の基礎的な情報をまとめた手帳で、県庁職員や各市町村職員等に配布され、県内の市町村の概要を手早く把握する目的などに使われてきた。
- しかし、各市町村のホームページの情報は手帳に掲載されている内容よりも詳しくなってしまうほか、年1回発行する手帳の情報は時間が経つにつれ古くなるため、手帳の利便性向上を図ることが課題となっていた。



市町村手帳をデジタル化し、市町村手帳の利便性を高めたい！

が市町村課の強い思いであった。

実証実験の方法-デジタル化によるメリット



情報の随時更新

紙の手帳であれば年1回の更新が限界だったが、随時更新により最新の情報を得られる



情報の拡張

手帳に掲載された情報に限定されず、リンク先の情報も取得することができる



多くの情報を持ち運ぶ

紙の手帳も持ち運びはできたが、より多くの情報をコンパクトにまとめて出先でスマホから確認できる

実証実験の方法-市町村手帳のデジタル化

手帳をWebアプリ等でデジタル化し、手帳の利用状況を把握するとともに、手帳の利便性が高められるかを検証する。



The laptop screen displays a table listing municipalities in Aichi Prefecture. The table has five columns: 市町村名 (Municipality Name), 市章ファイル (Municipal Seal File), 市町村長 (Mayor), 議長 (Chairman), and 所在地 (Location). The data is as follows:

市町村名	市章ファイル	市町村長	議長	所在地
西尾市		中村 雄	本郷 崇代	西尾市寺尾町下田22 〒445-0001
蒲郡市		鈴木 寿明	青山 義明	蒲郡市旭町17-1 〒443-0866
犬山市		原 悠伸	藤田 浩行	犬山市大字犬山字東組36 〒470-0001
常滑市		伊藤 辰夫	藤田 克己	常滑市飛音台3-3-5 〒479-0001
江南市		澤田 和広	宮地 友治	江南市赤童子町大郷90 〒464-0001
小牧市		山下 史守雄	角橋 秀和	小牧市福の内3-1 〒485-0866

実証実験の方法—デジタル化による特徴的な機能①

デジタル化をすることで、紙の手帳では入れることができなかった情報を拡張的に入れることを意識した。



実証実験の方法-デジタル化による特徴的な機能②

条件検索により、市町村を指定し、該当市町村のデータの経年比較をできるようにした。
※表示画像は名古屋市の年度ごとのデータのみを表示したもの。



市町村名	対象年度	住基人口基準日	住基人口 (人)	面積基準日
名古屋市	2022	2023.1.1	2,294,854	2023.7.1
名古屋市	2021	2022.1.1	2,293,437	2022.7.1

実証実験の方法-デジタル化による特徴的な機能③

項目をクリックすることで昇順降順の並び替えができるようになり、情報を調べやすくなりました。



市町村名	対象年度	住基人口基準日	住基人口 (人)
県計	2022	2023.1.1	7,512,703
都市計	2022	2023.1.1	4,813,720
名古屋市	2022	2023.1.1	2,294,854
豊田市	2022	2023.1.1	417,432
町村計	2022	2023.1.1	404,129
岡崎市	2022	2023.1.1	384,422
一宮市	2022	2023.1.1	380,201

実証実験の方法-アンケート方法

下記対象者にデジタル化した「WEB版市町村手帳」を一定期間利用してもらい、デジタル化することの必要性や利便性向上に繋がるかについて検証する。

- ・ **県内54市町村の職員**（回答は各市町村毎に複数名。人数の限定はなし）
- ・ **愛知県庁職員**（全庁職員に任意で依頼。従来の市町村手帳を作成している市町村課のみ課長以下約80名に対して実施。）
- ・ **市長会、町村会の事務局職員**

目標・KPI

項目	KPI
デジタル化されたことに対する「良い」「やや良い」の割合	70%以上
追加機能の必要性の割合	70%以上
各市町村のホームページより優先的に活用できるかについて「活用できる」「やや活用できる」の割合	70%以上
引き続き活用したいかについて「①活用したい」「②やや活用したい」の割合	70%以上

2. 実証実験の結果

KPIに関連する結果

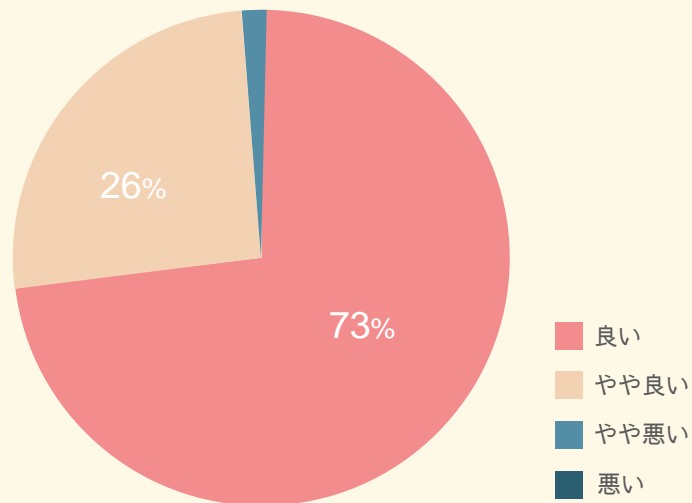
回答者数：147人

項目	KPI	結果
デジタル化されたことに対する「良い」「やや良い」の割合	70%以上	98.6%
追加機能の必要性の割合	70%以上	96.1%
各市町村のホームページより優先的に活用できるかについて「活用できる」「やや活用できる」の割合	70%以上	89.1%
引き続き活用したいかについて「①活用したい」「②やや活用したい」の割合	70%以上	96.6%

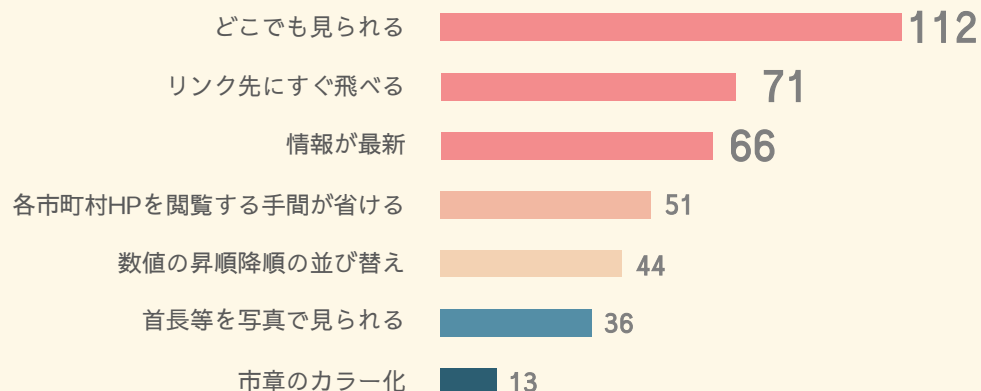
KPIに関連する結果

デジタル化されたことに対する好意的な意見が大半を占めたほか、デジタル化されたメリットについても多くの情報を持ち運べること、情報の拡張、随時更新の部分が挙がっている。

デジタル化されたことは良いと思うか



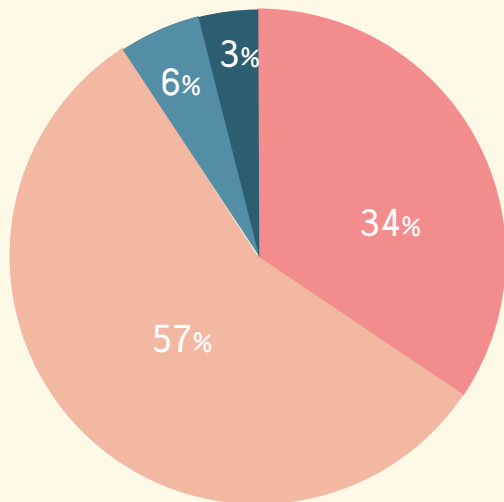
デジタル化されたメリット



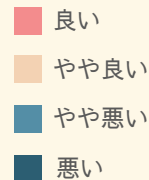
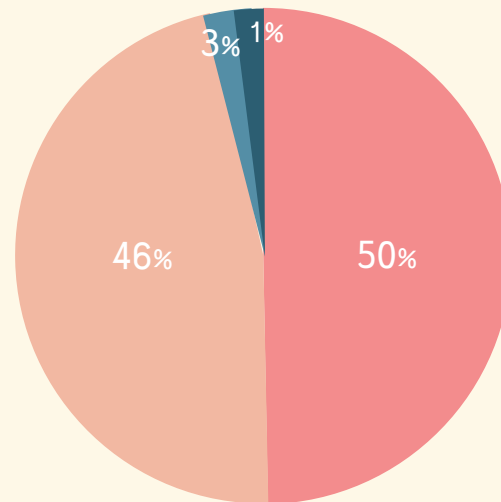
その他主な結果

手帳をデジタル化するにあたって、「ユーザーが使いやすいものになっているか」という点についても高い評価を得た。

全体レイアウトについて



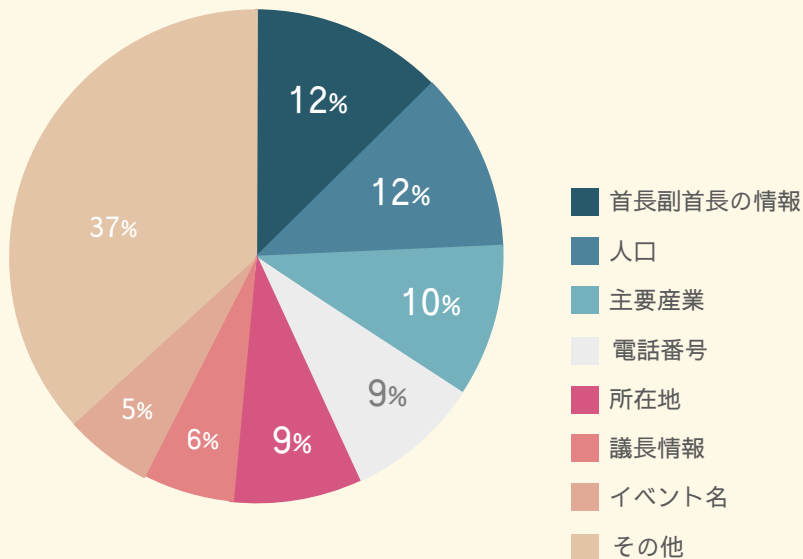
文字の大きさについて



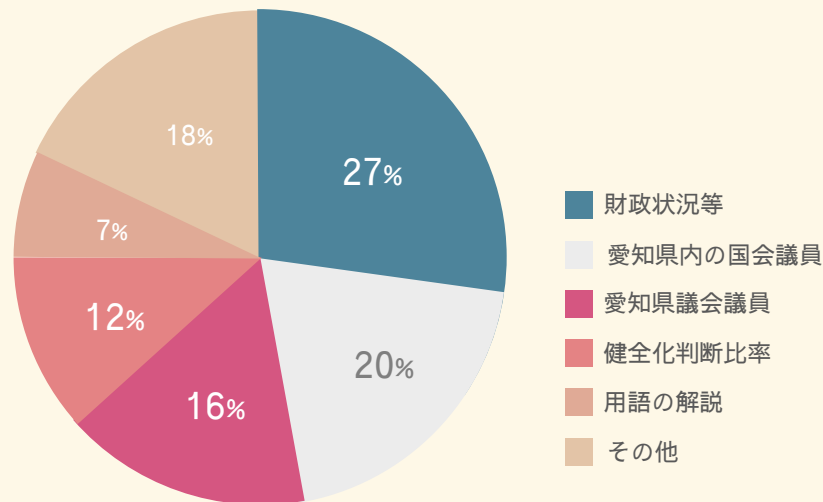
その他主な結果

アンケートの結果から、手帳に盛り込まれている内容の中で特にニーズの高いものについて把握することができる。

どの情報をよくみるか



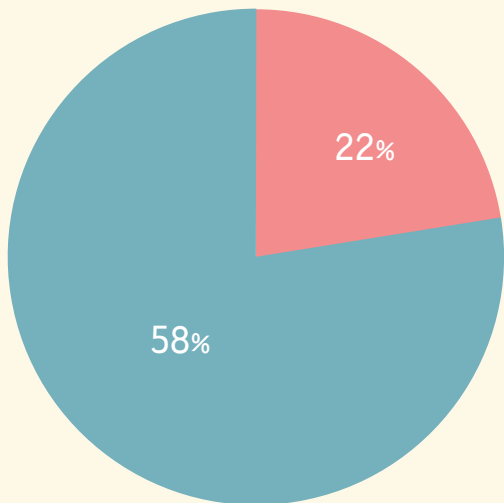
関係資料集のどのページを使っているか



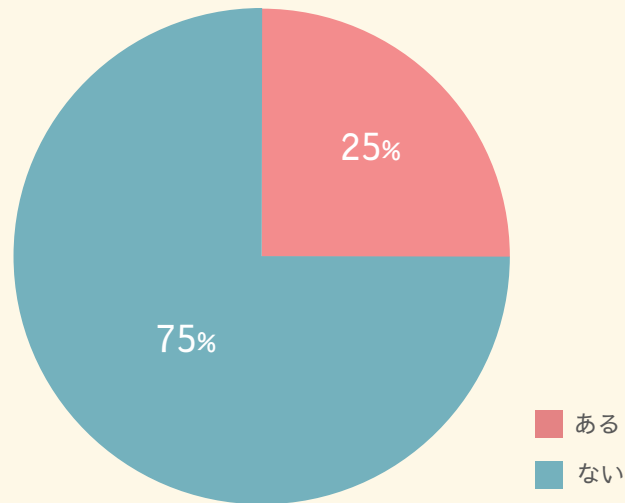
その他主な結果

写真やリンクについては追加で欲しいというニーズは多くはない。

さらに追加で欲しい写真はあるか



さらに追加で欲しいリンクはあるか



実証実験で得られた発見

- 全体レイアウトや文字の大きさに関して、「良い」「やや良い」の割合が9割を超えていたため、デザインについて概ね満足が得られたものと考えられる。
- 市町村の概要ページでは、「首長副首長の情報」「人口」「主要産業」の閲覧の割合が高く、また関係資料集においても「愛知県内の国会議員」「愛知県議会議員」の閲覧の割合が高かったことから、市町村手帳の使用方法としては、データ分析よりも、県や市町村の現況確認のために使用される傾向が高いと考えられる。
- デジタル化にあたり、追加した情報に加えて、さらに追加で欲しい写真やリンクがあるかについては、「ない」の回答が圧倒的に多かったため、現在の仕様で概ね満足を得られたものと考えられる。

工夫したポイント

開発の前段階で、利用者の声を聞くため、事前に特定の3市に対してアンケートを実施した。その結果、以下のことがわかった。

- どの写真・リンクが掲載されていると良いかなど、デジタル化による拡張機能に関するヒアリングができ、プロトタイプブラッシュアップに繋がった。
- 実証実験前に一度アンケートを実施したことで、より精度の高い回答が得られるアンケートの作成に繋がった。
- デジタル化されたことに対するメリットは感じるといった前向きな結果が得られた。

実証実験の評価

- 市町村手帳のデジタル化に対して、目標を上回る支持も得られており、一定のニーズがあることがわかった。
- その他、市町村手帳をデジタル化するにあたっての適切な追加機能やレイアウト等についても、ユーザーのニーズを検証することができた。
- これらを踏まえ、次年度からのデジタル化された市町村手帳の導入を検討していく。

3. 課題と今後の展開

導入に向けての課題と解決策

アンケート結果を踏まえた拡張機能のブラッシュアップや追加機能の検討を行う必要がある。

【ブラッシュアップ事項】

- ・リンク遷移されている箇所とされていない箇所を分かりやすくする
- ・キーワード検索機能の向上
- ・「市町村の概要等」の一覧表示の昇順降順機能の必要性
- ・掲載データの多い一覧データの表示方法
- ・行政区画図の画質の向上

【追加機能の検討事項】

- ・関係資料集のExcelデータでの出力
- ・利用方法・活用方法の例示

情報をタイムリーに更新するため、各情報の更新時期、更新主体、情報の集め方など、運用体制の検討が必要となる。

4. 參考資料

成果物（制作物）紹介

WEB版愛知県市町村手帳の概要



ノーコード・ローコードツールであるkintoneをデータベースとして、市町村手帳の情報を入力。連携プラグインであるkviewerの活用によりkintone内にある情報を外部公開することで、WEB上で市町村手帳の内容を提供するもの。

また、市町村の概要ページは、紙の手帳に準じた構成でPDF出力が可能。

サービス/ システムの紹介

kintone

プログラミングの知識なしで、ノーコードで業務のシステム化や効率化を実現するアプリがつけれるクラウドサービス。

kviewer

kintone内にある情報やデータを外部公開出来るサービス。これによりkintoneライセンスを持たない人への情報公開が可能。

フォームブリッジ

kintoneへデータが自動で保存されていくwebフォームを作成できるツール。作成した入力フォームから登録（更新）がある都度、kintoneにデータが保存。

プリントクリエイター

kintone内にある情報を参照し、帳票のPDFを作成できるツール。様式のPDFファイルをアップロードし、マウスの操作で項目設定することで帳票作成が可能。